

令和8年度

進路のしおり



愛知県立春日井東高等学校

「人生 100 年時代を生きる皆さんへ」

校長 清水 貴子

国連推計によると、日本の 100 歳以上の人口は、2050 年までに 100 万人を突破する見込みとされています。そして、10 代半ば、ちょうど東高生の皆さんの半数は、なんと 107 歳以上まで長生きすると推定されています。

そんな時代を生きていく皆さんは、きっと今までのような「人生はこうあるべき」というプレッシャーに縛られず、より自分らしい充実した人生を選択して生きられるようになります。そして、もしどこかで学業、受験、就職などに失敗したとしても、何度でもやり直すことができるでしょう。

「人生 100 年時代」の提唱者であるリンダ・グラットン教授は、「人生はマルチステージ化する」と指摘しています。これまでは「教育→仕事→老後」という 3 ステージ制でした。しかし今は、就職しても転職・起業・副業兼務などの多様な働き方がみられます。仕事以外でも様々な環境の変化により選択肢は広がっており、自由な人生設計、つまり「マルチ(複数)ステージ」が待っているという事です。

皆さんが社会人として働く頃には、おそらく大半の仕事はロボットや AI に頼らず行うことが困難になっているでしょう。今までは、20 代前後に学んだ知識とスキルで一生涯働き続けることができました。しかし、仕事の内容や職種が急速に変化するこれからは、そうはいきません。長く働き続けるためには、社会人になっても学校に再び入り直したり、最新の知識やスキルを最初から学び直さなければならないかもしれません。

そんな変化の大きな時代を生きている皆さんには、高校生活の中でこんなことを意識してほしいと思います。

○ 将来の選択肢を広げる

人生において自由が広がり、選択肢は増えています。高校生のうちにアンテナを高く張り、沢山調べ情報収集し、先生はじめ色々な人に相談し、選択肢をできるだけ多く増やしてください。

○ 自分の価値観を大切に

様々な選択肢の中からこれからの人生を考えていく上で、根底にあるあなたの価値観は何でしょうか。じっくり考えてください。もし価値観がイメージできなければ、自分の尊敬する人、憧れの人を思い浮かべてみてください。その人のどんなところに憧れるのか、それがきっとあなたの価値観であり、「なりたい自分」です。

皆さんは、今まさに山登りの一合目、まずは卒業後の進路選択に向けてスタート地点に立っています。初めての山登りをする人にとっては、高い山頂を見上げ、不安かもしれません。まずは、体調を万全にした上で、どんなペースでどのコースをどのように選んで登ろうか、しっかり作戦を立てて登り始めなければいけません。そんな時に、春日井東高校には、伴走者として支えてくれる先生達があります。

この「進路のしおり」は、皆さんへのメッセージとして、自らの経験を踏まえて先生達や先輩達が心を込めて作成したガイドブックです。皆さんが「なりたい自分になる」ために、後押ししてくれるものと思います。

「なりたい自分」を目指し、失敗を恐れず果敢に挑戦する皆さんを、東高の先生達は全力で応援し、サポートします。最後まであきらめず、全力を尽くしてください。

それでは、山頂を目指して、力強く一歩を踏み出しましょう。

学校では様々なキャリア教育を通じて、皆さんの進路実現を応援します。

<キャリア教育って何??>

キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、*キャリア発達を促す教育」のことをいいます。

<*キャリア発達とは>

社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程

➡ 自己理解・仕事理解が欠かせない



知識と **経験** の積み重ね

(自分の知識・経験の中から答えを作りだす!)

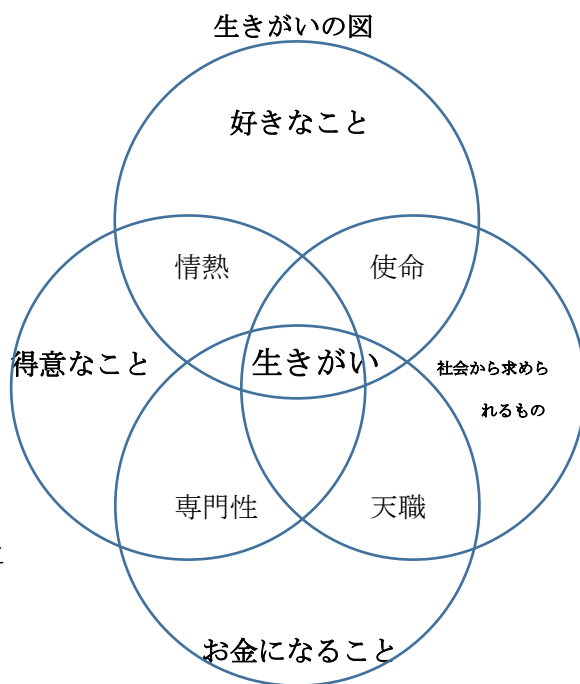
キャリア教育 = 職業教育 ではありません

単純な、将来の夢探しややりたい仕事探し、ではありません。自分で考え、自分で答えを導き出し、歩いていくこと、軌道修正する力を育むことです。

挨拶、礼儀含め、社会的自立に必要なものを教えること、失敗体験、成功体験をすること…すべてがキャリア教育ととらえられます。

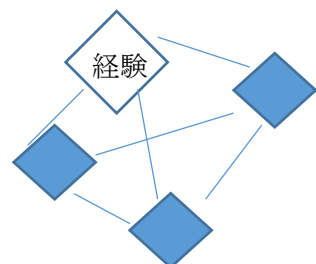
★好奇心を持って経験を積んでいくことが成功への近道

学校では、皆さんに啓発的経験を積んでもらえるよう、様々な行事を計画しています。看護体験やインターンシップなどはもちろん、校外での協働学習にも参加する機会を作っています。積極的に経験を積み、その経験から自分らしさや夢を探してみてください。新しい自分にきっと出会えることと思います。



<キャリアストーリー>

自分の経験を一つの物語として捉える、それがキャリアストーリーです。一つ一つの出来事は一見バラバラのように見えますが、実はつながりがあるのです。



これまでの経験が、
興味・関心
自分の強み につながっている。
志望理由

<ポートフォリオ入試>

高校生活で、どんな活動や学びをしてきたかのプロセスを問う入試もあります。

経験の蓄積し、記録していくことが必要

➡ 「Classi」にはポートフォリオ機能があります。自分の体験から感じたことをどんどん記録していこう。

進路指導関係の行事

月	1年生	2年生	3年生
4	・オリエンテーションテスト	・課題（実力）考査 ・進路ガイダンス	・課題（実力）考査 ・業後補習開始
5	・進路希望調査		・進路希望調査、進路別ガイダンス ・進研模試（マーク）（校内） ・土曜補習開始 ・大学進学保護者説明会
6	・大学系統別学問説明会		
7	・総合学力テスト（校内） ・インターンシップ	・総合学力テスト（校内） ・インターンシップ	・進研模試（記述） ・インターンシップ ・夏季補習
8	・インターンシップ ・看護体験 （県・医療療育総合センター等） ・夏季補習	・インターンシップ ・看護体験 （県・医療療育総合センター等） ・夏季補習	・インターンシップ、就職希望者指導 ・看護体験（県・医療療育総合センター等） ・夏季補習
9	・課題考査 （進路希望調査）	・課題考査	・実力テスト ・ベネッセ駿台マーク模試（校内） ・共通テスト出願
10		（進路希望調査）	・ベネッセ駿台記述模試（校内） ・共通テスト模試#3（校内） ・記述模試#3（校外）
11	・2年時の類型登録 ・総合学力テスト（校内） ・社会人講話	・3年時の類型登録 ・総合学力テスト（校内）	・共通プレテスト模試（校外）
12		・出前講義	・冬季補習
1	総合学力テスト（校内）	総合学力テスト（校内）	・「大学入学共通テスト」
2		・ベネッセマーク模試（校内）	・「私大入試」 「国公立大・前期入試」
3	・スタディーサポート	・スタディーサポート	

調査書とは

受験、就職において必要となるもので、卒業見込み証明書や成績証明書の代わりになるものである。ただし、進学用と就職用では内容が異なるので、担任にどちらが必要かをきちんと伝えること。

調査書の発行について

- ① 担任の先生に「調査書発行願」をもらう。
- ② 必要事項を黒のボールペンで正確に記入する。
- ③ 「調査書発行願」を担任に直接提出する。
- ④ 「調査書」を受け取る。**開封厳禁！！** 開封すると無効になるので、封筒のまま、願書と一緒に送ること。
- ⑤ 発行開始時期については、夏休みが終わるまではできません。開始時期については、担任から指示をします。

発行に1週間はかかるので、必要な日の1週間以上前に担任に伝えること！！

記入上の注意 別紙参照

調査書発行願 (兼 受験台帳)													
愛知県立春日井東高等学校長 殿										保護者氏名 _____			
下記の大学または専門学校を受験するため、調査書を発行してください										3年 組 番 _____			
全ての受験大学を正確に記入すること。										生徒氏名 _____			
同じ出願期間であれば、方式をまとめて書くこと。(出願期間ごとに分ける)										連絡先 _____			
大学コードは河合塾の新聞で調べて下さい。(卒)													
大学・学校名	学部名	学科名	方式	分類	大学・学部コード(河合塾)	調査書数	受取チェック	出願期間	受験日	可否	最終進路先に◎	備考	
1 愛知工業大学	経営	経営	前期AM 前期BM	ア	4 9 9 1 7	1		1/4 ~ 1/23 必/消	2/1,2,3,4	○2	◎		
2 名城大学	外国語	英米	共テF方式	ア	5 4 8 2 6	1		12/13 ~ 1/13 必/消なし					
3								~ 必/消					
4								~ 必/消					
7								~ 必/消					
8								~ 必/消					
9								~ 必/消					
10								~ 必/消					
11								~ 必/消					
12								~ 必/消					
13								~ 必/消					

調査書数を確認し、受け取ったらチェックを入れて下さい。調査書必要数は願書で確認して下さい。

受験番号が、分かっていたら記入してください

出願期間・試験日などは、正確に調べる。消印有効か、当日必着かは○をつける。

学校名などは、略称ではなく、正式な名称を記入すること

受験する方式を全て記入。出願期間が同じ方式はまとめて記入する。

調 査 書 発 行 願

愛知県立春日井東高等学校長 殿

下記の大学または専門学校を受験するため、調査書を発行してください
全ての受験大学を正確に記入すること。

同じ出願期間であれば、方式をまとめて書くこと。(出願期間ごと分ける)

3年 組 番
 既卒は⇒ (年3月卒)

保護者氏名 _____

生徒氏名 _____

連絡先 _____

No.	大学・学校名	学部名	学科名	方式	分類	調査書数	受取 チェック	出願期間	受験日→発表日	受験番号
1								～ 必 / 消		
2								～ 必 / 消		
3								～ 必 / 消		
4								～ 必 / 消		
5								～ 必 / 消		
6								～ 必 / 消		
7								～ 必 / 消		
8								～ 必 / 消		
9								～ 必 / 消		
10								～ 必 / 消		
11								～ 必 / 消		
12								～ 必 / 消		
13								～ 必 / 消		

◎分類

ア・・・一般入試 イ・・・私立一般推薦 ウ・・・指定校	エ・・・国公立共通テスト無推薦入試 オ・・・国公立共通テスト利用推薦入試	カ・・・同窓生入試 キ・・・特奨入試 ク・・・総合型選抜(AO)	<その他> ・自分の受験する受験日をすべて記載する。 ・調査書数は同一出願期間につき1通とする大学が多いが、要項でよく調べること。
-----------------------------------	---	--	---

調査書の追加発行を希望する場合は、出願締切日の1週間前までに担任に申し出てください。

受験結果記録簿(すべての方式毎、分けて記入する)

()組()番 氏名()

No.	大学・学校名	学部名	学科名	方式	分類	大学・学部コード(河合塾)				出願期間	受験日→発表日	合否	最終進路 先に◎	受験番号
1										～ 必 / 消				
2										～ 必 / 消				
3										～ 必 / 消				
4										～ 必 / 消				
5										～ 必 / 消				
6										～ 必 / 消				
7										～ 必 / 消				
8										～ 必 / 消				
9										～ 必 / 消				
10										～ 必 / 消				
11										～ 必 / 消				
12										～ 必 / 消				
13										～ 必 / 消				
14										～ 必 / 消				
15										～ 必 / 消				
16										～ 必 / 消				
17										～ 必 / 消				
18										～ 必 / 消				
19										～ 必 / 消				
20										～ 必 / 消				
21										～ 必 / 消				
22										～ 必 / 消				

<合否> 傾斜配点を利用して複数回合否判定が出される場合があるので、回数も記入する。例)○3..合格3回、×2..不合格2回、不受..不受験、補..補欠
 <分類> 9ページを参照

進路指導関係の部屋の利用

進路指導関係の部屋は本館棟 2 階の東階段を挟んで 2 部屋あります。

I. 進路指導室（階段西側）・・・生徒のみの入室不可

1. 進路指導用資料の閲覧（教員のみ）
2. 補習費の徴収
3. 進路に関する相談

II. 進路相談室（階段東側）・・・生徒のみの使用可

1. 進路に関する問題集の保管

(1) 東側の棚（貸出可）

- ・ 大学別過去問題集・・・通称「赤本」と呼ばれるもの A5 版で表紙が赤色

(2) 西

(3) 側の手前側の棚上（持ち出し可）

- ・ 大学の案内・・・受験する学校の願書は原則自分で取り寄せること。
- ・ 進路関係情報誌

<赤本の貸出と返却について>

- ・ 貸出期間は **7 日間**。延長の場合も、一度返却手続きを行うこと。

（ただし、最新年度の赤本の貸出は **1 日間**）

- ・ 貸出ノート（進路指導室内）に必要事項を記入し、教員のサインをもらう
- ・ 赤本棚の鍵（進路指導室内の鍵ボックス）を受け取る
- ・ 返却の時は教員に声をかけるか、進路室前の返却 BOX に入れる。
- ・ 不正をした場合、以後貸出禁止

* 前年度の赤本は貸出不可 閲覧したい場合は進路相談室内のみ可

* 問題をコピーしたい場合は教員に依頼する（1 枚 10 円）

(3) その他

生徒の皆さんに有用なものを閲覧できるようにしていきたいと思います。

2. 利用の仕方について（私語・飲食厳禁）

- (1) 利用時間 原則 15:45～17:00 ※進路の先生に許可を得ること。場合により延長可。
- (2) ゴミは持ち帰ること（消しゴムのかすはゴミ箱へ）
- (3) 自習は原則不可とします。調べ学習等で短時間の利用であれば可とします。
- (4) 面接練習やその他小会議室として利用することがあります。

受験等による欠席願、学生割引証交付願について

- 「受験等による欠席願い」
 - ① 必要事項を黒のボールペンで正確に記入する。
 - ② 担任に提出する。
 - ③ 受験校を変更し、受験日が変わった場合はすぐに担任に報告し、書き換えること。

- 「学生割引証交付願」 （※本校 HP 上からダウンロードもできます。）
 - ① 必要事項を黒のボールペンで正確に記入する。
 - ② 担任に提出する。
 - ③ 受験用は通常用の紙と異なります。必ず担任に「受験用」と伝えること。
 - ④ 片道 100km 以上の距離がある場合に限る。（特急料金の割引はありません。）
 - ⑤ 発行までに 1 週間程かかるので、余裕を持って申請すること。

学 生 割 引 証 交 付 願									
令和 年 月 日									
愛知県立春日井東高等学校長 殿									
下記のとおり旅行しますので旅客運賃割引証を交付してください。									
全日制課程 普通科 第 学年 組 身分証明書番号 生徒氏名 (歳) 保護者氏名									
記									
旅行目的	帰省 正課教育 (授業等) 正課外教育活動 (部活動等) 就職・受験 見学 傷病治療 保護者旅行随伴 ※ 該当するものに○をつける								
旅行内容									
旅行先	(都道府県 市町村)								
同伴者	(氏名) (続柄または関係) ・ なし								
旅行期間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで (日間)								
乗車区間	駅より 駅まで								
割引証必要枚数	(枚) ※ 往復で利用する場合、有効期間内は割引証1枚で往復切符を購入する								
学 生 割 引 証 発 行 台 帳									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 25%;">教 頭</th> <th style="width: 25%;">事務長</th> <th style="width: 25%;">指導部</th> <th style="width: 25%;">担 任</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	教 頭	事務長	指導部	担 任				
教 頭	事務長	指導部	担 任						
発行番号	第 号								
割 印									
発行年月日	令和 年 月 日								
取扱者									

受験等による欠席願

令和 年 月 日

愛知県立春日井東高等学校長 殿

第3学年 組 番・氏名

保護者氏名

下記の理由により欠席いたします。

	日 程	大学名	受験番号	備考
		下段()内は受験場所の所在地を記入すること(ただし、市町村名のみで可)	国公立は記入	
1	月 日 曜	()		
2	月 日 曜	()		
3	月 日 曜	()		
4	月 日 曜	()		
5	月 日 曜	()		
6	月 日 曜	()		
7	月 日 曜	()		
8	月 日 曜	()		
9	月 日 曜	()		
10	月 日 曜	()		

※健康診断などの理由の時は、上段に「病院名」を、()内は同じく所在地などを記入。

受験時 連絡先	自宅電話 () () ()	本人携帯等 () () ()
------------	---------------------	----------------------

大学入学共通テストについて

○ 共通テストの概要

「大学入学共通テスト（以下、共通テスト）」は各大学が独立行政法人「大学入試センター」と共同で実施する試験です。毎年1月中旬の土・日曜の2日間に全国で一斉に実施される、日本最大規模の試験です。

国公立大学の一般選抜受験者は、原則共通テストを受験しなければなりません。また、多くの私立大学でも共通テストの成績を利用する「共通テスト利用方式」を設定しています。大学進学を考える受験生にとって、この共通テスト対策は必須といっても過言ではありません。

○ 新課程入試

2025年入試から始まった「新課程入試」は、2022年度から高校で始まった新課程（新しい学習指導要領に基づく教育課程）に対応した入試のことです。現役生（高校3年生）にとっては、高校1年生のときから学んできた課程に基づく入試のため、「以前の入試とは異なる新しい入試」と受け止める必要はありません。

（下記は大学入試センター公表の時間割）

令和8年度大学入学選抜に係る大学入学共通テスト
出題教科・科目の出題方法等

教科 科目	出題科目	出題方法 (出題総則、出題科目選択の方法等) 出題範囲について特記がない場合、出題科目名に含まれる学習指導要領の科目の内容を総合した出題範囲とする。	試験時間(配点)
国語	『国語』	・「現代の国語」及び「言語文化」を出題範囲とし、近代以降の文章及び古典(古文、漢文)を出題する。	90分(200点) 【注1】
地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』→(b) 『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 『地理総合/歴史総合/公共』 →(a) (a):必修科目を組み合わせた出題科目 (b):必修科目と選択科目を組み合わせた出題科目	・左記出題科目の6科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 ・(a)の『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答する(配点は各50点)。 ・2科目を選択する場合、以下の組合せを選択することはできない。 (b)のうちから2科目を選択する場合 『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできない。 (b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合 (b)については、(a)で選択解答するものと同一名称を含む科目を選択することはできない。 【注2】 ・受験する科目数は出題時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分 【注3】 (うち解答時間120分) (200点)
数学	①『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅰ』	・左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ・「数学A」については、図形の性質、場合の数と確率の2項目に対応した出題とし、全てを解答する。	70分(100点)
	②『数学Ⅱ、数学B、数学C』	・「数学B」及び「数学C」については、数列(数学B)、統計的な推測(数学B)、ベクトル(数学C)及び平面上の曲線と複素数平面(数学C)の4項目に対応した出題とし、4項目のうち3項目の内容の何題を選択解答する。	70分(100点)
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	・左記出題科目の5科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 ・『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答する(配点は各50点)。 ・受験する科目数は出題時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分 【注3】 (うち解答時間120分) (200点)
外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	・左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ・『英語』は「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」及び「論理・表現Ⅰ」を出題範囲とし、【リーディング】及び【リスニング】を出題する。受験者は、原則としてその両方を受験する。その他の科目については、『英語』に準じる出題範囲とし、【筆記】を出題する。 ・科目選択に当たり、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』及び『韓国語』の問題冊子の配付を希望する場合は、出題時に申し出ること。	『英語』 【リーディング】 80分(100点) 【リスニング】 60分 【注4】 (うち解答時間30分) (100点) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 【筆記】 80分(200点)
情報	『情報Ⅰ』		60分(100点)

○ 受験の必要性

国公立大学だけでなく、私立大学の入学試験においても、共通テスト利用入試（大学入学共通テストの得点のみで合否が決まる）や共通テストプラス入試（大学入学共通テストの得点と個別試験の合計で合否が決まる）といった入試が主流ですので、受験することを強くお勧めします。

○ 検定料

3教科以上受験 18,000 円

2教科以下受験 12,000 円

最初から受験教科を絞り込んでしまうと、受験直前になって志望校を変更することができなくなります。**できる限り「3教科以上」を受験**しましょう。当日においても、苦手だった科目で思った以上に得点がとれたということが良くあります。逆に、勝負したい科目で得点が伸びなかったということもあるので、科目は3教科以上受験しておくことが望ましいです。

○ 成績通知手数料

出願時 800 円（成績通知を希望する場合、出願時に検定料と併せて払込）

ただし、成績が通知されるのは卒業後の5月上旬です。

自己採点を確実に行うようにしましょう。

○ 出願期間

出願については、学校ですべてまとめて行います。本校では、9月早々に大学入学共通テスト願書説明会を行います。説明会の内容をよく聞いて、検定料の振り込み、願書の提出をしましょう。

○ 対策

共通テストの出題範囲は、あくまでも教科書に載っている内容になります。つまり、各教科の教科書レベルの知識・技能を習得することが、最初の課題です。教科書の知識はひととおりインプットし、教科書に載っている典型問題は解けるようにすることが大切です。3年生の夏休みが終わるまでに仕上げることを目指しましょう。

また、授業に意欲的に取り組み、グループワークや探究的な学習に積極的に取り組むことが大事です。共通テストでは、そういった学びのシーンが問題として設定されているケースが多いからです。実際に取り組んだ経験があれば、問題が解きやすく感じられたり、アプローチの糸口がみつけやすかったりします。

目標得点は、受験する大学にもよりますが、各科目で6割を目指したいところです。難関大学をねらうのであれば7割以上は必要です。ただし、共通テスト利用入試では、6割以上とれた科目があると合格に結び付くことが多いです。まずは「夏までに5割到達」を目指し基礎を固め、秋以降、少しずつレベルアップを目指しましょう。

「総合型選抜」と「学校推薦型選抜」

文部科学省は、各大学に対して*アドミッション・ポリシーを示し、それに基づいて、どの入試方式でも「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」という学力の3要素を適切に評価することを求めています。総合型選抜・学校推薦型選抜でも、調査書や志望理由書などの書類だけでなく、小論文、面接、口頭試問、プレゼンテーション、活動報告書、実技、教科・科目に係る個別テスト、大学入学共通テストの活用などを通して、多面的・総合的に評価する方法が定着しています。

また、近年は、**高校での学びの過程**そのものを重視する傾向が強まっており、「総合的な探究の時間」での課題研究、学校内外の活動、資格・検定、留学やボランティア経験などを活動報告書や面接、プレゼンテーションで評価する大学もみられます。受験準備では、評定だけでなく、これまでの学びや活動を振り返り、自分の経験を根拠をもって説明できるようにしておくことが大切です。

○実施時期

	総合型選抜	学校推薦型選抜
出願	9月以降	11月
合格発表	11月以降～3月末まで	12月以降～一般選抜期日の10日前まで

○総合型選抜・学校推薦型選抜の選考チェックポイント

- ・志望校の*アドミッション・ポリシーに当てはまっているか
- ・将来の夢・目標は明確か
- ・自由な発想や考え方ができるか
- ・志望校・学部・学科について理解しているか、興味を持っているか
- ・社会でのつながりに興味を持ち、将来へ展開しようとしているか

※アドミッション・ポリシー（AP）とは？

アドミッション・ポリシーとは大学が掲げる目的「どんな学生を育て、社会に送り出したのか」を達成するために、どのような学生を受け入れるかという方針を定めたものです。各大学・学部には募集要項で選抜方法、合否判定の基準を明確化することが求められており、それにしたがって独自の試験が行われます。

受験レポート

○受験レポートとは

総合型選抜（旧AO入試）、学校選抜型推薦入試（旧推薦入試）等の入試において、面接が試験内容に課せられる場合があります。受験の参考資料として、先輩方がみなさんのために受験の記録を書いています。皆さんも受験を終えた後、後輩のために記載をお願いします。

○設置場所、閲覧方法

- ・ 職員室に置いてあります。
- ・ 担任、副担任、面接担当等の先生の許可の元、閲覧することが出来ます。

○種類

- ・ 推薦系入試4年生大学
- ・ 推薦系入試短期大学
- ・ 看護医療系の大学、専門学校
- ・ その他の専門学校
- ・ 公務員等の就職関係

合格体験記

——先輩の言葉——

① 名古屋市立大学 経済学部 (R6)

私は1・2年生の頃、やりたいことやなりたい職業がまったくなく、勉強もただ定期テストのためにしているだけでした。そして3年生になり進路を決めなければならなくなって、あらためて自分の将来を見つめ直しましたが、それでも「やりたい!」と思えるものは見つかりませんでした。ただ、私の中に「将来は安定した収入を得たい」という想いがあり、その考えから経済学・会計学を学ぼうと決めました。たとえ今やりたいことがなくても、自分の中にある素直な想いを見つめ直して、それに近づけるような学部・学科を探してみてください。

そこから、どんな大学があるのか、取れる資格や就ける職業などを調べて、志望校を決めていくと良いと思います。志望校が決まったら、まずはその大学に必要な受験科目や受験方法を調べましょう。調べ終わったら、あとはひたすら勉強あるのみです! 大学受験では、高校3年間で学ぶ内容が出題されます。3年生になって受験を意識し始める頃には、3年生で学んだことはよく覚えていても、1年生の最初の内容などは忘れていくことがよくあります。だからこそ、1・2年生のうちとにかく定期テストを頑張っておくのがおすすめです。定期テストである程度理解を深めておけば、後から復習したときにもスムーズに思い出すことができ、3年生になったときにとっても助かります。また、定期テストに出るような問題は基本的なものが多く、それがそのまま受験でも問われることがあります。特別な対策を意識しなくても、それ自体が立派な受験勉強になります。

私が大学受験を通して最も大切だと感じたのは、「自分に合った勉強法を見つけること」です。私は本格的に受験勉強を始めたのが8月中旬で、国公立大学を目指す人の中では遅めのスタートでした。だからこそ合格するには、効率的かつ質の高い勉強が必要だと考え、自分に合った勉強スタイルを模索しました。私は「やりたいときにやりたい科目をやる」「睡眠時間は削らない」というルールを決めて勉強していました。とにかく短時間で多くのことを覚えられるよう、質にこだわって勉強してきました。二次試験では数学と英語の2科目を使いました。名古屋市立大学は数学もちろん難しいのですが、特に英語の難易度が非常に高く、「英語対策が合否を分ける」とも言われていました。

ここでは、私が実際に行った数学と英語の勉強法を紹介します。まず数学についてですが、私はとにかく「基本を忘れない」ことを意識しました。黄チャートで頻出の単元を全て解けるようになるまで繰り返し、応用問題は別の問題集で対策しました。参考書は1冊を徹底的にやり込むのがおすすめです。一周して終わりではなく、もう一度解き直して本当に身につけているか確認しましょう。英語については、私は単語と熟語を徹底的に強化していました。文法や構文が分かっても、単語の意味が分からなければ解けない問題もありますし、逆に単語や熟語を知っているだけで解ける問題もあります。単語力は長文読解だけでなく、英語全体に関わる重要な要素なので、決して軽視しないようにしてください。

最後になりますが、「諦めず、最後までやり切る覚悟」を持って努力すれば、きっと大丈夫です。不安もあるかと思いますが、少し楽観的なくらいの気持ちでちょうどいいと私は思います。これから受験に挑むみなさん全員が、第一志望に合格できることを心から願っています。

② 大分大学 教育学部 初等中等教育 (R6)

私は中学校の頃から、漠然と「教師になりたい」という思いを持っていました。そのため、教員免許が取得できる大学をいろいろと調べ、自分の学力レベルに合った大学を探しました。ただ、オープンキャンパスには参加せず、大学のウェブサイトや評判をもとに志望校を選んだため、実際の大学の雰囲気や学びの環境については、正直あまり理解できていませんでした。今振り返ってみると、やはりオープンキャンパスにはできるだけ参加しておくべきだったと思います。大学の雰囲気、自分の性格とその大学との相性、自分が学びたいことが学べる環境かどうかなど、実際に足を運ぶことで感じ取れることがたくさんあるからです。忙しい時期や場所の都合などもあると思いますが、可能であれば時間を作って参加することを強くおすすめします。

私はもともと勉強が得意ではなく、中学2年生まではほとんど勉強していませんでした。そのため、自分に合った勉強法がわからず、学習習慣も身につけていなかったのです。だからこそ、焦らず自分のペースで勉強を進めることを大切にしました。スタートが遅かったのも、最初は「間に合うのかな」と不安でいっぱいでしたが、無理に自分を追い込みすぎると体調を崩してしまい、逆に勉強ができない時期ができてしまうことに気づきました。そこで、毎日少しずつでも継続して勉強することを目標にし、自分のペースを大事にして取り組みました。勉強を続ける中で、友達と目標を共有したり、一緒に勉強したりすることもすごく励みになりました。友達が頑張っている姿を見ると、私も「自分も頑張ろう」と自然とやる気が出てきたからです。お互いに励まし合いながら勉強することで、モチベーションを保ち続けることができました。私は塾に通っていませんでしたので、苦手な教科については学校の補習を活用していました。補習は人数が多すぎず、先生に質問しやすい環境が整っていて、分からないことをしっかり理解できるようになっていました。「わからないことをそのままにしない」「早い段階で質問する」ことの大切さを、ここで実感しました。成績は、最後の模試までE判定が続いていましたが、それでも諦めることはありませんでした。「最後までやり切る」という気持ちを持ち続け、自分なりにできる限りの努力を重ねた結果、第一志望校に合格することができました。受験を通して私が一番大事だと感じたのは、「自分の気持ち」です。どんなに厳しい状況でも、諦めずに自分を信じて努力し続けることが、合格への道を開くのだと強く思いました。小さな進歩でもいいので、自分のペースで一歩ずつ前に進むことが大切です。試験が近づくとどうしても焦る気持ちになりますが、最終的には「自分はやり切った」と思えるような姿勢で臨むことが、結果につながると思います。

私が伝えたいのは、「諦めない気持ち」が一番大事だということです。どんなに困難な状況でも、目標に向かって努力し続けることで、自分自身が成長し、それが良い結果にもつながります。これから受験を迎える皆さん。どうか自分を信じて、最後まで諦めずに努力を続けてください。私も、皆さんの成功を心から応援しています。

③ 名城大学 経済学部 産業社会学科 (R7)

総括すると、結果を大きく左右したのは「勉強量」と「メンタルの維持」の2つです。

まず勉強量についてですが、平日は授業以外で10時間、土日祝は16~17時間を目標にしていました。もちろん、僕も最初からそこまでできたわけではなく、土日祝でも7時間ほどでした。しかし、夏休みが終わる頃には受験生としての自覚が強くなり、自習時間だけでなく、食事や通学、休み時間、放課後などのすき間時間もできるだけ勉強にあてるようになりました。勉強の質も大切ですが、まずは量をこなす中で見えてくるものがあると思います。

次にメンタルの維持についてです。受験は想像以上に精神的に苦しいです。あれだけ勉強してもなかなか点数が上がらない、模試ではE判定が続く、周りが推薦などで先に進路を決めていく——そうした状況の中で、不安になったり、投げ出したくなったりすることもあると思います。それでも、最後まで諦めずに続けてほしいです。苦しい時期を乗り越えた先に、自分を大きく変えられる経験があると思います。

他に大切だと思ったこと

- ・朝型の生活を意識する・SNSとの距離を取る・十分な睡眠をとる
- ・放課後やすき間時間を有効に使う・スマホに頼りすぎず、自習室や図書館を活用する
- ・AIや先生への質問をうまく活用する・参考書は何冊も広げず、まずは1冊をしっかり仕上げる
- ・1日の計画を具体的に立てる・単語帳は1語ずつ止まらず、何周も繰り返す
- ・まとめノート作りに時間をかけすぎない・実力にあった参考書を選ぶ
- ・志望校の出題傾向をよく分析する・必要に応じて推薦入試も視野に入れる

私立文系(英・国・社〈日本史〉)の勉強方法

日本史

山川の教科書で重要語句を覚え、問題集や過去問で確認することを繰り返しました。覚えにくい漢字は自分なりにまとめておくと、入試直前の確認に役立ちます。すき間時間には動画も活用しました。

英語

単語、文法、語法を順番に固めてから、問題演習や過去問に進みました。基礎が不十分な場合は、中学英語から確認し直すことが大切だと思います。焦らず、順を追って積み上げることが重要です。

国語(現代文)

漢字と語彙を固めたうえで、問題演習を重ねました。現代文は、実際に問題を解く中で読み方や考え方が身についていくと感じたので、毎日1題でも継続することを意識しました。

漢文

句法を一通り学んでから、問題集や過去問で演習しました。基礎を固めたうえで問題に取り組むと、点数につながりやすいと思います。

最後に、僕は第一志望だった南山大学に合格することはできませんでした。ずっと南山大学を目標に努力してきたので、結果を見た時は本当に悔しかったです。でも、1年前の怠けていた自分から変わることができたし、本気で努力した時間は自分にとって大きな財産になりました。受験を通して関わってくれたすべての人に感謝しています。ありがとうございました。

④ 岩手大学 理工学部 機械知能航空学科 (R7)

私は、ほかの人よりも勉強ができないという意識があったため、1年生の頃から早めに勉強を意識して取り組んでいました。本格的に受験勉強を開始したのは、2年生の9月頃からです。最初は黄色チャートのIA・IIBCを年内に1周することを目標にし、休憩時には英単語や英頻などの暗記科目に取り組んでいました。1月からは、授業で学んだ内容の復習や暗記科目、チャートを中心に、とにかく「覚えること」を重視して勉強しました。特にチャートは、解法を理解したうえで覚えることを意識して取り組みました。

3年生になると、新たに倫理と漢文の句形の学習を始め、第1回全統共通テスト模試に挑みました。しかし結果は、ほとんどがE判定という厳しいものでした。周囲の友達がA判定を取っている姿を見て、強い焦りを感じたのを覚えています。

そのとき先生から、「今は判定を気にする時期ではない。インプットばかりで、アウトプットの方法が身につけていないだけだ」と言われました。私はこの言葉を信じ、基礎を固める勉強を続けました。

6月頃からは物理の学習を本格化させました。基礎確認として『エッセンス (力学・波動)』を短期間で終わらせた後、学校で配られた『セミナー物理』を、間違えた問題を中心に繰り返し解き直しました。この「間違いがなくなるまで繰り返す」という勉強法をすべての科目で徹底したことで、徐々に点数が安定するようになりました。

こうして迎えた第2回全統共通テスト模試では、それまで第一志望としていた近畿大学でA判定を取ることができました。この結果をきっかけに自分の学力に自信を持ち、より高い目標に挑戦したいと考え、第一志望校を岩手大学へと引き上げました。

夏休みは、毎日10時間以上勉強すること、週ごとに重点科目を決めて理解度を確認すること、時間を意識して効率よく学習することを目標に取り組みました。その結果、学習習慣が確立され、充実した夏休みを過ごすことができました。

9月には岩手大学の学校推薦型選抜の推薦をいただき、面接や口頭試問の対策と一般受験の勉強を並行して進めました。そして12月4日、多くの先生方や家族の支えのおかげで、岩手大学に合格することができました。この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

最後に、これから受験に挑む人に伝えたいことがあります。受験勉強では、悩んで立ち止まるよりも、目の前の参考書の一つずつ確実に仕上げるのが大切です。また、努力を否定する声に惑わされず、自分を信じて最後までやり抜いてください。この体験記が、誰かの背中を押すことができれば幸いです。

⑤ 長野県立大学 健康発達学部 こども学科 (R6)

私は高校3年生の4月から、共通テストに向けて本格的に勉強を始めました。平日は毎日3時間、休日は公民館などに出かけ、時間が許す限り勉強に取り組んでいました。中でも、国語・英語・世界史に力を入れて学習を進めていました。また、学校の補習にも積極的に参加し、授業だけでは得られない知識や考え方を吸収することができました。それでも、模試の成績はなかなか思うように伸びず、焦りや不安を感じることもありました。

そんな中、夏の三者面談で先生に「総合型選抜を受けてみてはどうか」と勧められ、私は長野県立大学への出願を決意しました。志望校を決めたのが遅かったため、夏休み中は補習がない日も学校に通い、志

望理由書の作成に集中しました。夏休みが明けてからは、プレゼンテーションの準備や面接練習にも力を入れて取り組みました。文化祭や体育祭などの学校行事も重なる中、メリハリを意識しながら、行事にも楽しく参加することができました。共通テスト対策と総合型選抜の準備を同時に進めるのはとても大変でしたが、友達や家族の支えがあり、乗り越えることができました。特に担任の先生には、毎日忙しい中でも面接練習に付き合っただき、本当に感謝しています。試験前日は宿泊先で最後の確認を行い、体調を整えるために早めに就寝しました。たくさんの準備と練習を積み重ねてきたおかげで、当日は自信を持って試験に臨むことができました。

私はこの総合型選抜の経験を通して、「諦めない心」の大切さを学びました。どれだけ倍率が高くても、先生方のアドバイスに素直に耳を傾け、努力を重ねれば、きっと良い結果に結びつくと思います。これから受験を迎える皆さんも、後悔のないよう、自分を信じて最後まで頑張ってください。

応援しています！

⑥ 愛知県立大学 日本文化学部 歴史文化学科 (R6)

私は日本史についてさらに深く学びたいと考えていたため、愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科を志望しました。そして、無事に合格することができました。

2年生の進路を考える時期に、愛知県立大学に興味を持ちました。そして3年生に進級する前の春休み、本格的に目指すことを決意し、受験勉強をスタートさせました。それまでの私は、日々の授業や定期テストのために勉強してきたものの、「受験を意識した勉強」はしていませんでした。そのため、最初の頃はとても苦労しました。ただ、2年生までに積み重ねてきた学びのおかげで、基礎的な部分は比較的スムーズに復習を終えることができました。しかし、問題となったのは共通テストの対策でした。国語や歴史など、自分の好きな分野は順調に伸びていきましたが、英語や理系科目が全く手につかず、基礎から見直す必要がありました。単語帳や教科書を繰り返し読み返し、演習を重ね、つまづいたところは積極的に先生に質問しながら克服していきました。そうした努力の積み重ねで、少しずつ成果が見え始めてきました。また、共通テスト対策と並行して、推薦入試の準備も進めていました。残念ながら推薦では不合格という結果に終わりましたが、その悔しさが私の中で大きな原動力となり、「次は絶対に合格する」という気持ちで勉強に一層力を入れました。その結果、共通テストでは志望校のボーダーに届く点数を取ることができました。私立大学の受験が終わったあとは、国公立二次試験に向けて過去問演習に集中しました。英語に関しては、私立大学の問題と形式が似ているため、特に記述問題を重点的に解いて対策しました。また、多くの受験生が英語に慣れている分、国語で差がつくと感じたので、私は国語の過去問を10年分解き、本番に備えました。しかし、不安は消えることなく、本番当日も国語の問題すべてに自信が持てず、試験後も「本当に大丈夫だったのだろうか」という思いがずっと頭から離れませんでした。可否の発表日も、推薦で不合格だった経験が頭をよぎり、かなり緊張しながら番号を確認しました。結果的に、なんとか合格を勝ち取ることができました。けれど、あの試験で少しでも「もうダメかも」と諦めかけていたら、合格はなかったかもしれません。

最後に、私が伝えたいのは、合格を決めるのは「勉強法」や「参考書」ではなく、「最後まで諦めない気持ち」だということです。どんなに不安があっても、自分を信じてやり切ることが、合格への一番の近道だと思います。どうかみなさんも、悔いのないように、最後の最後まで諦めずに頑張ってください。

⑦ 愛知淑徳大学 人間情報学部・データサイエンス専攻 (R7)

私は3年生が終わる頃までやりたいことが見つからず、とても焦っていました。3年生になり、本格的に進路を考えなければならなくなった頃、数学の授業方式が変わり、家で解いてきた問題を黒板に書いてクラスメイトに説明する活動を行うようになりました。私は数学を解くことと、人に話を聞いてもらうことが好きだったので、この授業をととても楽しいと感じ、数学の教師になりたいと考えるようになりました。

しかし、文理選択の際に将来のことをあまり深く考えずに文系を選んでしまったため、大学の選択肢は少なかったです。愛知淑徳大学を選んだのは、オープンキャンパスの学部体験でデータサイエンスの技術を間近で見て、データ分析に興味を持ったからです。数学とデータ分析を学びたいと思い志望校を決め、親や先生と相談して、総合型選抜で受験することにしました。

小論文は書き方がわからなかったので、YouTubeで文章の構成の仕方を調べ、時間を計りながら過去問を解きました。解くためには、志望学部でよく使われる用語を調べておくことが必要だと思いました。面接練習は毎回違う先生にお願いし、さまざまなアドバイスをもらいました。先生一人ひとり感じていることが違って、とても勉強になりました。面接では、ニュースをしっかりと調べておくことが大事だと思いました。

これから受験する人へのアドバイスは、日頃の勉強を大切にしておくことです。授業中に当てられたときにも自信を持って答えられるように、基礎をしっかりと身につけておくことよと思います。受験大学を決める際は、「この大学なら自分でも受かりそうだから」「総合型で受験すれば早く終わりそうだから」といった理由だけで選ぶと後悔することもあると思います。オープンキャンパスにたくさん行ったり、さまざまな大学の資料を集めて比較したりして、しっかり考えて決めてください。

⑧ ナゴノ福祉歯科医療専門学校 (R6)

私の「将来のための努力」は、高校2年生のオープンキャンパスから始まりました。自分に合う学部がある大学や専門学校を探し、さまざまな情報を集めました。実際に学校の説明を受けるときには、夏休みの課題として配られた「メモを取る用紙」に、できるだけ多くのことを書き込みました。このメモは、後で他の学校と比較するときにとっても役立ちました。

高校3年生になってからは、2年生のときに訪れて気になっていた学校に、もう一度オープンキャンパスに行きました。一度経験を積んだことで、より冷静な視点で学校を見ることができ、「前は気づけなかったこと」に気づくことができました。その結果、「なんとなく違和感がある」「思っていたのと少し違う」と感じる学校もあり、最終的には別の学校を選ぶことにしました。この経験から、親など自分とは違う視点を持つ人の意見を聞いたり、回数を重ねて確認したりすることの大切さを実感しました。ネット上の情報だけでは分からないことも多いので、「実際に足を運んで、自分の目で見て判断する」ことをおすすめします。特に専門学校の場合は、オープンキャンパスに参加すると試験が免除になったり、面接で大切なポイントを教えてもらえることもあります。

ぜひ、親や友達と一緒に気軽に見学に行ってみてください。

進路選びを通して私が学んだことは、「与えられたものはすべて利用する」という姿勢の大切さです。

東高校では、オープンキャンパスのメモを課題にすることで、自分の言葉で情報を書き出す機会が得られました。また、進路別に開かれる講座では「どこに注目すべきか」を教えてもらい、補習では自己PRや小論文の練習にも取り組みました。正直、当時は「面倒くさいな…」と思うこともありましたが、振り返ってみると、それらすべてが学校選びや受験にとっても役立ちました。

「あの時、ちゃんとやっておいて良かった」と心から思っています。

1・2年生の皆さんも、今さまざまな進路学習に参加していると思います。「今すぐ本気になれ！」と言いたいわけではありませんが、教わったことを少しでも頭の片隅に残しておく、きつと進路を決めるときに役に立ちます。面倒に感じることも、少しずつでいいので取り組んでみてください。

与えられたものは全部、自分の武器にしていきましょう。

そして、今まさに受験に向かっている皆さん。自分のペースで、無理せず、でも諦めずに頑張ってください。心から応援しています！

⑧ ニチエイ調理専門学校 食品技術管理専門士科 (R7)

私は、さまざまな分野の料理が作れる調理師になりたいと考え、ニチエイ調理専門学校を志望しました。この専門学校は、5ジャンルの料理分野を2年間ですべて学べるという強みがあり、私のように一つの専門ジャンルにこだわっていない人にも向いていると思います。

基本的に、私は調理学校を受験するにあたって特別に対策してきたことはあまりありませんでしたが、前もって行動しておくことはおすすめします。特に専門学校のAO入試は、他の受験方法より時期が早く、書類の提出も期限内に確実に済ませなければなりません。三年生になってから志望先を決めるのはかなり遅いと思います。二年生の夏休みなどを利用して、たくさんのオープンキャンパスに参加し、志望校を決めるとよいと思います。

私は初め、調理学校はどこもそれほど差はないと思っていましたが、校則や年間スケジュール、専攻分野など、学校ごとに違いがありました。調理学校は専門学校の中でも学費が高く、将来の目標によっては必要な資格も多くあります。入学してから学校の方針などを理由に退学することがないよう、自分に合った専門学校を選ぶことをおすすめします。

受験が終わってからの話になりますが、AO入試が終わると後半期はかなり時間が空くと思うので、専門学校に入るまでに基本的な知識や技術を身につけておくと、入学への不安が薄まると思います。周りには高専出身の同級生もいるので、その時間を専門分野の準備に使うのもよいと思います。

⑨ 就職 (一般企業) (R7)

私が進学ではなく就職を選んだきっかけは、明確な夢や目標はなかったものの、「こんな人間になりたい」という理想の姿があったからです。3年生に進級した頃、私はカフェで働きたいと強く思うようになりました。きっかけは、あるカフェで店員さんに「お疲れさまです。今日も素敵な一日にしてください」と声をかけていただいたことです。その一言に励まされ、私も誰かにとってそんな存在になりたいと思うようになりました。

私は学校に来ている求人からではなく、自分でお店を探して就職先を決めました。時間はかかりましたが、自分が心から働きたいと思える場所を選べたことが、モチベーションの維持につながったと思います。面接練習では、内容を細かく暗記するのではなく、伝えたいことを整理し、表情や姿勢、声のトーンを意識して練習しました。履歴書や志望理由書を書く中でも、「なぜここで働きたいのか」を明確にすることが大切だと感じました。

私が受けた就職試験では、体験ワーク、一次面接、最終面接が行われました。緊張はしましたが、できるだけ自然体で笑顔を心がけました。面接は練習通りにいかないこともあるので、どのような質問にも答えられるよう準備しておくことが大切だと思います。

東高では進学する生徒が多く、不安になることもありましたが、進学でも就職でも、目指す方向が違うだけだと思います。大切なのは、周りに合わせるのではなく、自分がどんな大人になりたいかを考えて進路を選ぶことです。悩んだ時は一人で抱え込まず、先生や友達に相談してみてください。皆さんが自分らしい進路を見つけられることを願っています。

⑩ 就職（公務員・警察）（R6）

私は高校在学中に、愛知県警察官採用試験を受験し、合格しました。警察官という職業に興味を持ち始めたのは中学生の頃です。人を守る仕事に対して憧れのような気持ちがありました。そして高校に進学して、自分の将来を真剣に考えたとき、「やっぱり警察官になりたい」と心から思ったことが、この道を目指すきっかけになりました。

警察官採用試験には一次試験と二次試験があります。一次試験は「教養試験」と「作文試験」、二次試験は「体力試験」と「面接試験」です。特に教養試験は、科目数が多くて不安を感じる人も多いと思いますが、出題傾向をつかみ、問題の解き方を理解することが大切です。なかでも「数的処理」や「判断推理」は出題数が多いので、重点的に取り組むことをおすすめします。私は公務員試験対策の講座に参加して対策をしました。教養試験のポイントや過去問を教えてもらえたり、作文の添削をしてもらえたりと、非常に手厚いサポートが受けられます。こうした機会は積極的に活用した方が良いです。体力試験については、基本的な筋力や体力が求められます。普段から筋トレや運動の習慣をつけておけば、特別な準備はそれほど必要ないと思いますそして、警察官採用試験でもっとも大切なのが「面接」です。面接官は3人。あなたがどんな人間で、県民のためにどれだけ熱意を持って働こうとしているのかをしっかりと見ています。正直、すごく緊張します。でも、自分が「警察官になりたい」という気持ちを、しっかりと姿勢を正して、目を見て、元気よく、ハキハキと伝えられれば、きっと大丈夫です。また、服装や身だしなみ、姿勢などの「第一印象」もとても重視されます。私は試験前日に髪を切り、制服をクリーニングに出したあと、自分でアイロンをかけて丁寧に整えました。小さなことに思えるかもしれませんが、こうした気配りも警察官を目指す上で大切なことです。合格発表の後も、気を抜いてはいけません。交通違反や怪我、未成年の飲酒・喫煙・深夜徘徊などは絶対に避けてください。警察官としての「信頼」を守る意識は、合格後も常に持ち続けるべきものです。警察官という仕事は、交通取り締まりや事件捜査といった、厳しいイメージがあるかもしれませんが、ですが本当は、人々の生活を守り、困っている人を助け、地域の安全を支えるとても立派で誇りある職業です。「悪を挫き、正義を守る」その姿勢は、子どもから大人まで多くの人にとって憧れの存在でもあります。これから警察官を目指す人がいたら、自分の気持ちに正直になって、ぜひ挑戦してほしいと思います。緊張もするし、大変なこともあります。それ以上に大きなやりがいや達成感がある道です。応援しています！